

---

妹

雪花

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

妹

### 【Nコード】

N7250B

### 【作者名】

雪花

### 【あらすじ】

子供の頃から思ってた夢。母親の友達の息子お兄ちゃんのお嫁さんになる事。お兄ちゃんにとって私は妹だって知ってるよ。

私の理想の男性は、年上の人。

母親の親友の息子で私が小さい時から一緒に遊んでた。

10歳年上のお兄ちゃん。

いつからか私はお兄ちゃんが好きになってて

「お兄ちゃんのお嫁さんになるんだ☆」

なんて夢見てた。

子供の頃に描いた夢は今でも醒める事なかった。

私は18歳になった今でもお兄ちゃんのお嫁さんになりたいって本気で思ってる。

でもそんな事は口にできない。

だってお兄ちゃんは、私の事を妹としか思っていないから…

高校合格した時も  
就職内定出た時も

何かある度にお兄ちゃんは私の頭を撫でて

「よくやったな」

って誉めてくれた。

私がすねるとお兄ちゃんは決まって

「まだまだ子供だよな」と頭を撫でた。

いつでも私はお兄ちゃんにとって妹であり子供扱いなんだ。どんなに歳を取ってもそれは変わらない。

お兄ちゃんの結婚式で私は泣いた。

お兄ちゃんの隣に居る人を羨ましく思い泣いた。

夢が壊れて泣いた。

お嫁さんに

「こいつ妹みたいなもんだから仲良くしてやって」  
そう言われて心で泣いた。

お嫁さんの

「よろしくね」

その言葉で泣いた。

最後に妹として

ありがとう

おめでとう

その言葉が言えて泣いた。

私はお兄ちゃんの妹で良かった。

私の気持ち伝えなくて良かった。

これから何かある度にお兄ちゃんに頭を撫でてもらおう。

そして私も産まれてくる赤ちゃんの頭を撫でてあげよう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7250b/>

---

妹

2011年1月3日21時48分発行